

水産業界、環境問題には取り組んでいるものの、 人権問題への取り組みは不足

ロンドン/アムステルダム 2021年10月12日：ワールド・ベンチマーキング・アライアンス(WBA)は、本日、東京サステナブルシーフード・サミットにおいて、第2回「シーフード・スチュワードシップ・インデックス第2版」を発表しました。WBAの調査によって、水産会社の環境問題への取り組みは一定の進展を見せているものの、人権デューデリジェンスへの取り組みは十分でないことが明らかになりました。

WBAのデータは、水産会社が人権や労働者の権利保護への取り組みを約束していても、行動には結びついていないことを明らかにしています。ベンチマーク対象企業の大多数(97%)は、人権デューデリジェンス、即ち従業員の保護に踏み出すための最も基本的な行動に欠けています

適切な配慮に向けた手順・手続きを欠いています。ランキング1位のThai Union Groupだけが、自社業務とサプライチェーン双方において、人権に関するリスクと影響を見定め、評価し、それらに対処するための手順・手続きを有していました。

さらに、WBAが評価した水産会社30社のうち、水産業界、特に遠洋漁業船団にとっての重要課題である、船上での適正な労働条件・生活条件の監視・実現を約束しているのは8社にとどまっています。漁業は世界で最も危険な職業の一つであるため、船上労働者の健康と安全は業界の優先事項でなければなりません。

WBAシーフード・スチュワードシップ・インデックスの責任者ヘレン・パッカーは次のように述べています。「企業が自分たちは強制労働などの行為に反対の立場だと公言するのは良いことですが、その言葉を行動に移さなければなりません。例えば自社業務・サプライチェーン双方においてリスクの評価・対処が実現されるよう

デューデリジェンス及び苦情対応のしっかりとした仕組みを整えることが必要です」

「シーフード・スチュワードシップ・インデックス」によると、漁業や養殖業の環境への影響については大部分の企業が行動を起こし、例えば、認証品を取り扱ったり改善プロジェクトに取り組んだりする取引先から製品調達を行っています。しかし、報告が正確さを欠いているため、進捗具合ははっきりしません。例えば、認証取得製品の調達量と認証取得に向けて改善中の製品の調達量の二つを区別して公表していない企業が数社ありますが、量により持続可能性のレベルは違ってきます。

最も改善すべき点をはっきりさせるためには、企業の業務全体における活動について詳細に開示するしかありません。そうでなければ、各企業が、簡単に成果が上がるところのみに力を注ぎ、業界の大きな難題がそのままにされてしまうおそれがあります。

2021年「シーフード・スチュワードシップ・インデックス」トップ5

順位	企業名
1	Thai Union
2	Mowi
3	Nueva Pescanova
4	Nomad Foods
5	Nutreco

今回のランキングで引き続き第1位となったThai Unionは、トレーサビリティと社会的責任の分野で優れた取り組みを行っています。生態系への影響の分野で今年トップを走るのは、世界最大のサーモン養殖加工会社Mowiです。同社サーモン製品の100%がサステナビリティの認証を受けており、また養殖業界の重要課題である、責任ある飼料生産や動物福祉などについても包括的に取り組みを報告しています。

2019年以降、日本企業は他の企業とともに、水産物の持続可能性・適法性実現の土台を支えるトレーサビリティへの取り組みを強化しています。株式会社極洋、マルハニチロ株式会社、日本水産株式会社の3社は、「Seafood Business for Ocean Stewardship (SeaBOS)」イニシアティブのメンバーです。同イニシアティブは「Global Dialogue for Seafood Traceability (GDST)」の採用に向けた取り組みを進めることを約束しています。業界全体を見渡してみると、今以上に意欲的な取り組みが求められます。目標はあっても期限が設定されていないことが多く、また、未だにトレーサビリティに取り組んでいない企業が全体の4分の1強(26%)を占めています。

パッカーは続けてこう言っています。「水産業は健全な生態系に支えられる産業なので、企業のサステナビリティ戦略への投資は理にかなう投資です。今必要なのは、進捗状況に関する明確な報告であり、各企業は目の前の問題の複雑さに透明性をもって対処すべきです。そうして初めて、この業界の未来を確実に持続可能なものとする方法について、生産的に議論することができるのです」

「シーフード・スチュワードシップ・インデックス」に関する結果及びデータ全文は、本日より当アライアンスのウェブサイトで開催されています：[Seafood Stewardship Index - World Benchmarking Alliance \(シーフード・スチュワードシップ・インデックス - ワールド・ベンチマーク・アライアンス\)](#)

以上

「シーフード・スチュワードシップ・インデックス」は、WBAの「食料・農業ベンチマーク(Food & Agriculture Benchmark)」のランキングの一つです。ワールド・ベンチマーキング・アライアンスの評価対象企業は全て、より広範な企業リストSDG2000に掲載されている企業です。SDG2000は、世界で最も影響力のある2,000社を対象に、国連の持続可能な開発目標SDGs達成のための実績をランク付け・測定しています。

- 「水産物管理指標」の詳細: [Seafood Stewardship Index\(水産物管理指標\)](#)
- 食料・農業ベンチマークの全詳細はこちらでご覧下さい: [Food and Agriculture Benchmark - World Benchmarking Alliance\(食料・農業ベンチマーク - ワールド・ベンチマーキング・アライアンス\)](#)
- 前回のベースライン・アセスメント(2020年)の主な結果はこちらでご覧下さい: [Assessing the world's 350 most influential food and agriculture companies\(世界で最も影響力のある食品・農業関連企業350社の評価\)](#)
- 当アライアンスの方法論、企業選定についての詳細: [Methodology for the Food and Agriculture Benchmark: A roadmap for corporate action\(食料・農業ベンチマークの方法論: 企業の行動に向けてのロードマップ\)](#)
- WBAのミッションと展望を理解するにはこちらをお読み下さい: [Mission and vision - World Benchmarking Alliance\(ミッションと展望 - ワールド・ベンチマーク・アライアンス\)](#)
- SDG2000についての詳細情報: [SDG2000 - World Benchmarking Alliance\(SDG2000 - ワールド・ベンチマーク・アライアンス\)](#)

WBAについて: ワールド・ベンチマーキング・アライアンス(**WBA**)は、国連の持続可能な開発目標(**SDGs**)に関し、世界で最も影響力のある企業の実績を評価し、ランク付けする非営利団体です。当アライアンスは無料でベンチマークを公開し、これによりビジネスリーダー、投資家、政府官公庁、市民社会、その他の主要ステークホルダーに情報を提供し、力を貸しています。**WBA**がその知見を通して目指すのは、説明責任のメカニズムとして機能し、企業が変化を遂げ**SDGs**を達成していくための原動力・動機付けとなることです。**WBA**は、加盟各メンバーとともに、より包括的で公正かつ持続可能な世界の実現に向けて、透明性のある対話、そして最終的には行動を可能にするムーブメントの構築に努めています。

WBAプレス関係者連絡先

コミュニケーション、メディア責任者

Blanca Civit: b.civit@worldbenchmarking.org

Ketchum London: Wba-london@ketchum.com